

織・編物メーカー、糸加工メーカー・繊維試験場用
織・編物の品位向上に不可欠な
特許出願・上下吹出熱風循環機構内蔵の
移動乾燥機装着
超小型「乾燥セットマシン」

「乾太郎」の開発と販売について

小松精練(株)は連結子会社である染色機械メーカー(株)小野森鉄工所(資本金:2億9千万円、売上高:17億円、住所:能美郡辰口町上清水、社長小野森守・会長中山賢一)と共同で「染料役者」に続くラボ加工マシンの第2弾として、化合織をはじめ天然繊維や再生繊維の織・編物に対応できる、特許出願・業界初の画期的な、上下吹出熱風循環機構内蔵の移動乾燥機装着・超小型乾燥セットマシン「乾太郎(かんたろう)」を開発いたしました。

国内外の糸加工メーカー及び織・編物メーカー、原糸メーカーの加工技術研究所、全国工業試験場をユーザーとして8月20日より販売展開いたします。

染色加工業における乾燥セットマシンの役割は、染色加工する繊維製品のなかには、湿熱や乾熱により異常に縮んだり、シワが発生したり、シボが出来たりしますが、乾燥セットマシンで熱処理をすることにより、製品の不必要なシワ・シボの発生を防ぎ、規格の幅や密度を調整し風合いや形状を保つ役割と、最後に商品としての品位や価値を高めるための仕上げには不可欠な工程です。



「乾太郎」は製品の風合いを重視して、上下吹出熱風循環機構内蔵の乾燥機を移動させるという、特許出願・業界初の画期的な方式を採用、さらに超広幅の製品に対応できるセット機能を装備し、染色メーカーの本格的装置と同様の高性能を有しながら、省スペース化による製造コスト低減の低価格を実現しました。

「乾太郎」によって、織物や編物の品質チェックはもとより、新商品・技術の開発分野では、より感性度の高いバリエーション豊かな商品開発や技術開発が期待でき、また、完全な商品としてのより確実な消費市場の反応を確認することが可能となります。

先に開発・販売した「染料役者」は流通変革によるQRへの対応や、ユーザーの各段階での消費市場の動向を捉えた商品開発対応のラボ用加工機としての需要は高く、時宜に合った製品として反響が大きく好評裡に展開、発売以来、既に42台の販売実績を得ていますが、この度発売の「乾太郎」も織・編物メーカーや糸加工メーカーの商品開発や品質チェックに寄与するものと確信いたしております。

現在、モデル機は小松精練・工場エントランスホールに設置して、ユーザーによる操作・試用及び製品試作ができ、相談に対応しています。

1. 「乾太郎」の特長

- ①業界初の上下吹出熱風循環方式を採用。特許出願中。
温度はデジタル温度設定装置により簡単に任意に設定できます。
- ②効率的な熱風吹出機構内蔵の乾燥機を移動させる方式により省スペース化に成功。
特許出願中。
- ③ポリエステルをはじめあらゆる素材の織・編物に使用できます。
- ④基本仕様は仕上げ幅1800mmと2500mmの2機種ですが、2500mm以上の超広幅には特別使用で対応します。
- ⑤透かし照明により編物、織物の欠点もスピーディに検査できます。

2. 「乾太郎」の生産能力

月産 5台

3. 「乾太郎」の販売計画

■販売開始

99年8月20日

■販売計画

初年度 20台

次年度以降 60台の予定

■販売価格（出荷価格）

1800mm用 225万円

2500mm用 255万円

■販売先

国内外の糸加工メーカー及び織・編物メーカー

原糸メーカーの加工技術研究所

全国工業試験場をユーザー

以上

BACK